



山陽小野田市在住の^{ふかみしづか}深海志都香さんは色鉛筆やアクリルガッシュ等を使ったイラストや貼り絵、小物などの作品を、山口県内の個展やイベントで発表されている作家さんです。

その作風は、小動物などの可愛いキャラクターが織りなす癒し系で、作品も絵画やカレンダー、小物など数百円から1万円超のものまで様々。

深海さんは「作品を観たり使ってくれた方が、ほっとする気持ちになってもらえたなら嬉しいです。」と作品制作に込めた想いを話してくれました。



子どもの頃から絵が好きで、中学・高校と美術部だった深海さんは、山口芸術短期大学に進学。そこで写真や彫刻など様々な表現方法を学びましたが、一番好きだったのは、やっぱり絵画。山口県立美術館で開催された卒業作品展では、色鉛筆やパステルによる大型作品も制作・展示されたそうです。



卒業後は県内の食品包装パッケージ会社に就職して、水産加工品などの包装袋のデザインなどを担当。「今風のデザインに」「季節限定バージョンで」など様々なオーダーをこなす中で、デザインソフトの使い方もぐんぐん上達し、デザイン力が一層鍛えられていきました。



その後、転職して時間に余裕ができた頃、普段から作品鑑賞に訪れていた山口市の「ギャラリーナカノ」さんから「興味があったら、作品を展示してみない？」とお誘いがあってグループ展示に出展。2022年3月に1回目、2023年9月に2回目の個展も開催されました。

他にも、きらら博記念公園で開催されるハンドメイドのイベント等に出品。客層は小さい子から同年代、年配の方まで幅広い。

「自分が楽しんで制作した作品を目の前でお客さんが『すごいね〜』とか言いながら楽しんでくれるのが嬉しい。仕事の合間に制作している状況ですが、出品できる作品も少しずつ増えていっています。」と楽しそうに話してくれました。



2024年3月には、山口市のクリエイティブ・スペース赤レンガで作品展を開催。この作品展では、山陽小野田市立高千帆中学校で同級生だった河村美穂さんがフルート演奏会、和田歩さんが書道作品を展示するなどのコラボ企画も実施。中学校の卒業から十数年が経ってから、再び山口県に山陽小野田アーティストが集結する姿に、友情と芸術の持つ力の素晴らしさを感じます。

「絵の具や切り絵など手段は違ってても絵が形作られていく過程が楽しい。」という深海さんが生み出す世界は、私達の生活に暖かな彩りを添えてくれるでしょう。



深海志都香さんの

(文：山田幸司)

山陽小野田の
ここが好き！

小さい頃からよく知っている地域の人たちが
身近にいて、落ち着いて住みやすいところ